

Ⅲ 令和6年度 教育総務部の目標

1 目標

令和6年度は、新たな区の基本構想及び「おおた教育ビジョン」（令和6～10年度）の初年度にあたります。子育て・教育が区政の最重要課題の一つであることを踏まえるとともに、おおた教育ビジョンの理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」の実現に向けて3つの基本方針を具現化するための新たなチャレンジの第一歩とし、各種施策に積極的かつ戦略的に取り組みます。

おおた教育ビジョンにおける3つの基本方針	
基本方針1	持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成します
基本方針2	誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出します
基本方針3	すべての区民が未来を担うこどもを育て、ともに学び続けます

2 組織のビジョン

学び合い、高め合い、チャレンジする組織

※ 組織のビジョンは、「おおた教育ビジョン」の理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」を実現するための教育総務部が目指す姿です。

教育長の下、“チーム教育”として一丸となって取り組みます。

3 重点課題

令和6年度 教育総務部の重点課題	
1	創造的な資質・能力を育成するため、令和7年度の区独自教科「おおたの未来づくり」全校実施に向けた最終調整と中学校におけるSTEAM教育等の教科等横断的な学びの推進に取り組む。
2	おおたグローバルコミュニケーション（OGC）を中学校でも実施するとともに、他の小中学校にも展開し、大田区ならではの国際教育によりグローバル人材を育成する。
3	第2期大田区教育ICT化推進計画（令和5年3月策定）に基づき、情報活用能力の育成や、ICTを活用した教員の指導力向上、ICT環境の整備などを進める。
4	地域の特色を生かしたコミュニティ・スクールを推進し、地域とともにある学校づくりを進める。
5	放課後こども教室における自主学習支援のモデル事業を実施し、令和7年度の全校展開につなげる。
6	学校内学童未設置校の課題を整理し、放課後ひろば全校実施への道筋をつける。
7	東邦大学と連携し、おいしくて健康になる給食献立の共同研究・開発をモデル校で実施し、家庭と連携して児童・生徒が生涯にわたり健康を保持・増進するための適切な食習慣の定着をめざす。
8	EBPMの取組を活用した新たな授業モデルを構築し、児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を推進する。

- 9 学校における働き方改革を推進し、教員が児童・生徒に向き合う時間を確保するための環境を整え
るとともに、次期大田区立学校における働き方改革推進プラン策定に取り組む。
- 10 部活動の地域連携・地域移行のモデル事業を実施し、今後のあり方を検討する。
- 11 教員による児童・生徒へのハラスメント対策に関する指針等を作成し、部内各課と学校が情報共有
しながら児童・生徒を守ることを最優先にした対応を徹底する。
- 12 一人ひとりの児童・生徒のニーズに応じた特別支援教育の充実に向け、区の特別支援教育推進計画
の策定に取り組む。また、令和6年度に区内で初めて開設した自閉症・情緒障害特別支援学級の成果・
課題を整理し、令和7年度以降の設置校に生かす。
- 13 いじめの未然防止、早期発見・早期対応を徹底するため、大田区いじめ防止対策推進条例に基づく
対策を総合的かつ効果的に推進する。
- 14 不登校対策アクションプランを実践するとともに、大田区の不登校施策の中心かつ先導的役割を担
う学びの多様化学校（学校型）の設置に向けた検討を進める。
- 15 学校配置型のスクールソーシャルワーカー事業をモデル実施し、課題を明らかにしながら本格実施
につなげる。
- 16 タブレット端末等を活用したチャットによる相談機能を整備する。
- 17 学校のコンセプトを改築の基本構想・基本計画に反映させるとともに、大田区学校施設個別施設計
画で示す工期短縮手法等を具現化しながら、計画的に学校の改築を進める。また、新しい時代の学び
に対応した施設環境の整備を推進する。
- 18 人生100年時代の生涯学習を支え、居場所、憩いの場となる図書館づくりを行う。
- 19 こどものニーズに応じた多様な学びの場を提供するとともに、こどもが安全・安心に過ごせる多く
の居場所をもつことができるよう支援する。

4 目標達成に向けた視点

(1) こどもを真ん中においた施策立案・課題解決

- 常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもの視点に立った施策立案に取り組みましょう。
こどもを真ん中において考えることで、これまで課題解決が難しかったこと、できなかったこ
とを乗り越えていくことが重要です。また、こどもの意見表明機会を確保し、意見を尊重しな
がら施策の点検と見直しをしましょう。

(2) 現状の正しい把握・検証

- 学校をはじめ、教育活動の現場に積極的に足を運び、現状を正しく把握した上で、こどもたち
本位の課題解決につなげましょう。
- 「おおた教育ビジョン」推進におけるこれまでの取組の成果、現状と課題をしっかりと検証しま
しょう。
- 他自治体との比較、先進事例との比較などを手掛かりに、区の現在の立ち位置（強みや進んで
いるところ、改善が必要なところはどこか）を明らかにしましょう。

(3) 事務事業の改善、優れた手法の追求

- 時代変化とともに、これまで最善であった手法も、状況の変化で必ず改善の余地が生まれます。前例踏襲的な態度を払拭し、現状を批判的に見る視点も確保し、創造力を発揮して事務事業の改善に取り組みましょう。
- 各分野の最新の知見を踏まえ、先進事例における優れた手法、新たな手法を研究、追求し、大田区の実情に合わせて積極的に取り入れましょう。
- 業務の効率化、区民サービスの向上に向けて、事務事業のDX化にチャレンジしましょう。

(4) 情報の共有化による問題解決能力の向上

- 教育総務部の仕事は、課や係が異なっても相互に密接に関連しています。基本的な声かけのほか、グループウェア等を活用し、できる限り即時の情報提供、情報の共有化を心がけましょう。
- 担当を超えて活発な議論を行いましょう。

(5) 部局間連携の強化と地域力を活かした事業の推進

- 所管する立場にとらわれることなく大田区全体を視野に入れ、部局間の連携を強化するとともに、地域力を活かした効果的、効率的な事業運営を行いましょう。

(6) 積極的な情報収集と発信

- 学校、教育関係団体等に、積極的に足を運んで情報収集と発信をしましょう。窓口利用者等からの声にも耳を傾け、情報を蓄積しましょう。
- 連携協力の効果を高めるため、区役所内部においても積極的な情報収集と発信を心がけましょう。
- 区民やマスコミ、議会等に向け、積極的に情報を発信しましょう。
- 教職員、児童・生徒、保護者との連絡やアンケート、調査等においては、グーグルフォームの活用など、一人1台タブレット端末環境を十分に活用しましょう。その際、情報格差対策も講じましょう。
※グーグルフォーム…グーグル社の提供する電子アンケートなどを簡易作成できるツール。

(7) 風通しの良い職場づくり、スマートワーク、リフレッシュの奨励

- 率直に話し合える風通しの良い職場をつくりましょう。
- 切磋琢磨して、お互いに学び合い、成長し合える職場をつくりましょう。
- 元気に働き、より良い仕事をするためには、ストレス解消やリフレッシュが欠かせません。計画的に仕事を進めるとともに、事務改善や業務の見直しを進め、超過勤務の偏在を解消し、「健康第一」と「お互い様の精神」で休暇を取りましょう。